



■骨董市の様子



「大須」という地名は「大須観音」に由来し、慶長17年(1612年)年、清州越しの一貫として、岐阜羽島の大須観音が所有していた貴重な書籍を守るため、水害の多い地域であった岐阜羽島から移転しました。これにより大須観音界隈が「大須」と呼ばれるようになったそうです。

「大須観音」は国宝の「古事記」の最古写本「真福寺本古事記」をはじめ、貴重な古典籍を多数所蔵しているそうです。また毎月18日、28日には、境内で骨董市が催され、多くの人でにぎわっています。いわゆるフリーマーケット状態です。また最近では、ボランティアによる「大須案内人」、大須発信のアイドルユニット「OS☆U」も出没し、大須商店街の活性化にひとやく買っています。

メガソーラー とは？

1メガワット(1000キロワット)を超える大規模な太陽光発電施設のこと。家庭等での時価消費を主目的とする分散型設備に対し電力会社等が、建設を進めている大規模な商業用太陽光発電施設が「メガソーラー」と呼ばれています。

日本の電力10社は、2020年度までに、全国約30地点で約14万キロワットのメガソーラー発電所の建設を計画しており、これらが完成すると、約4万軒の家庭が1年間に使用する電気に匹敵する約1億5千万キロワット時の発電が可能である。

(電気事業者連合試算)

海外では、さらに大規模なプロジェクトもみられ、日本各企業も事業への出資、設備供給等、参画しています。

太陽光発電には、火力発電等と比べ発電コストが高く、発電量が天候に左右され、安定的な供給が難しいというデメリットがあります。また設置するには、膨大な土地面積が必要となります。電気事業者連合によると建設計画(14万キロワット)を実現するためには、約400万平方メートルものスペースが必要とされています。

中部電力では、2020年までに1.5万キロワット~2万キロワットのソーラー発電の導入を目指しています。

2011年には、「メガソーラーいいだ」に続き、あいち臨空新エネルギーパーク内に「メガソーラーたけとよ」を運用開始、2014年度には静岡市に「メガソーラーしみず」の運転開始を予定しています。

■メガソーラー たけとよ



ECO×モ... WARBIZ 2012

ウォームビズ期間 2012. 11. 1~2013. 3. 31

私たちは、
チーム・マイナス6%のチーム員として
地球温暖化防止のため、
暖房時の室温は **20℃** にしております。

暖房に頼りすぎず、冬のオフィスの室温を20℃にすることを呼びかけています。寒い時は着る 過度に暖房器具に頼らない。そんな原点に立ち返り、暖房に頼り過ぎず、働きやすく暖かく格好良いビジネススタイル、それが「ウォームビズ」です。

ウォームビズ虎の巻

- ①室内は適度な温度・湿度に設定すべし
- ②暖かい空気を逃がさない工夫をすべし
- ③体の芯からあたたまるべし
- ④身につける物の工夫で体をあたためるべし
- ⑤飲食にもひと工夫して体の中からあたたまるべし



